

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

総会・連携会議 次第

日時：2019年 9月13日（金）11:00～12:00

場所：日本心理学会第83回大会 立命館大学大阪いばらきキャンパス AN212

参加者 公大協運営会議メンバー 個人会員 組織会員 加盟団体

1. 本年度の活動報告

- 4月18日、公認心理師制度推進室を訪問し、2018年度の年報を手渡した。
- 5月19日、常務理事会で「公認心理師養成大学教員連絡協議会 会則」が承認された。
- 6月20日、心理職の国家資格化を推進する議員連盟総会に招かれて出席した。
- 7月～8月、アンケート「公認心理師の養成カリキュラムと実習についての調査」を実施。
- 8月31日、シンポジウム「公認心理師に求められる卒研後研修」日本認知・行動療法学会会報メールマガジンの配信（2019年はこれまで2号～4号）

2. 今後の活動予定

- 9月13日、日本心理学会第83回大会において
 - 公開シンポジウム「公認心理師の大学・大学院での養成をどうするか」開催
 - 公認心理師制度推進室より話題提供（日本学術会議分科会との共催）
- 加盟団体との連携（標準シラバスやブループリントの改訂と充実）
- 日本学術会議との連携
 - これまでの健康医療と心理学分科会、心理学教育プログラム検討分科会に加え、法と心理学分科会、社会のための心理学分科会とも連携することになった。
- 公認心理師の会との連携
- 大学院標準シラバス、実習マニュアルの策定
- 2019年度年報の発行
- 推進室訪問

3. 委員会報告

- 学部カリキュラム検討委員会（箱田裕司委員長）
 - 公大協のアンケート調査より、心理学教育の質が低下しないための対策を検討している。
- 大学院カリキュラム検討委員会（熊野宏昭委員長）
 - 大学院「心理実践科目」9科目の標準シラバスを作成、パブリックコメントを求める。
- 現場実習検討委員会（長田久雄委員長）
 - 公大協のアンケート調査より、現場実習の現状についてまとめた。
 - 実習マニュアル（大学教員向け、実習生向け、実習先向けの3種類）を作成予定。
 - ホームページで公開し、パブリックコメントを求める。
- 国家試験検討委員会（丹野義彦委員長）
 - 国家試験の出題割合、出題内容、配点、合格基準などを検討。（ブループリント）の細目の検討。
- 編集委員会（2020年度より活動予定）
- 広報委員会（2020年度より活動予定）

4. 加盟団体へのお願い

- 以下の3つについて、各学会でアカデミックな観点からご検討いただきたい。
 - ①「公認心理師になるために必要な科目」（カリキュラム）
 - ②シラバス
 - ③国家試験設計表（ブループリント）
- 必要があれば、公大協でまとめて、公認心理師制度推進室に要望したい。
- 会報メールマガジンにおいて、今後、
 - ①組織会員の各大学における公認心理師養成の取り組み、
 - ②加盟団体の各学会における公認心理師についての取り組みについて紹介したいので、記事執筆への協力をお願いしたい。

5. 質疑応答